

定例公安委員会の開催状況について

令和2年2月6日（木）に、第4回定例山形県公安委員会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

1 令和元年 公文書・個人情報の開示請求及び決定等の状況について

令和元年の公文書・個人情報の開示請求及び決定等の状況について報告があった。

委員のコメント

- 本県の場合、業者等が業務上必要な情報を得るためのものが多いように思われる。開示請求に対する決定は今後とも適正に判断してほしい。
- 情報公開請求は憲法で認められた知る権利の行使であるが、一方で個人情報等を保護しなければならないので、開示・不開示の判断は慎重な検討が必要である。
- いずれの条例に基づく公開請求も、請求の趣旨を踏まえて適正な運用に努めてほしい。

2 令和2年度当初予算の概要及び令和元年度2月補正予算の概要について

令和2年度当初予算の概要及び令和元年度2月補正予算の概要について報告があった。

委員のコメント

- 増額する予算もあれば、それを捻出するために削減する予算もあるが、諸対策に必要な予算は網羅されているようであるから、議会で認められることを期待する。
- 来年度の当初予算で要求する予算は、今年度様々な広報や巡回連絡をとおして県民のディフェンス力を向上させた施策を、引き続き実施するための予算であると理解している。この予算が認められ、更なる県民の安全安心の確保につながることを期待する。
- 当初予算の要求内容については、詳しい説明を受けたので了解である。

3 「サポカー補助金」制度に関する広報への後援について

高齢運転者等の交通事故防止対策として、国による高齢運転者の安全運転サポート車導入を加速させるための「サポカー補助金」制度の実施に関連し、県内の団体が同制度の周知広報を行う際、山形県警察本部名で後援する旨の報告があった。

委員のコメント

- このテレビ広報で、山形県が『東北で一番交通事故の発生率が高い』と言っているのを聞いて、強いインパクトのあるCMであると思った。是非山形県警察で後援して県民に実態を周知してほしい
- こういった制度を周知する広報に県警察の後援があると、広報自体に重みが生じ、道路交通の安全確保が進むので良い取組であると思う。

- 人口10万人当たりの交通事故発生件数が東北で一番高いということ、数字で示されて改めて認識した。一般の方々も危機感を持つことができると思う。

4 夜光反射材着用促進キャッチコピーの決定について

新たに夜光反射材普及啓発活動の統一キャッチコピーを『反射材 見られて安全 見て安心 ～忘れてませんか？反射材～』に決定し、交通安全教室や街頭啓発活動等で周知を図るほか、交通安全啓発資料（チラシ、ポスター等）に掲載し、更なる夜光反射材の着用促進を図る旨の報告があった。

委員のコメント

- 一目見て心をつかまれるものを考え出すことは難しいが、今回選考されたキャッチコピーは分かりやすく一般の方々に受け入れられやすいと思う。
- 是非このキャッチコピーによって夜光反射材の着用率が向上するように広報してほしい。
- 選ばれたキャッチコピーは、今後はチラシやポスター等で地道に継続して広報してほしい。

5 大石田町発注の公共工事をめぐる談合事件の検挙について

大石田町発注の公共工事をめぐる談合事件の検挙について報告があった。

委員のコメント

- 談合事件というものは検挙に結びつけることが難しいものと思うが、事実を明らかにし検挙に至ったことを高く評価する。
- このような行為はあってはならないということ、この検挙によって知らしめることができたものと思う。
- 今後の捜査の進展に注目していきたい。

6 幸楽苑新西バイパス店における持凶器強盗未遂事件の検挙について

幸楽苑新西バイパス店における持凶器強盗未遂事件の検挙について報告があった。

委員のコメント

- リスポンスタイムが短かったことが検挙に結びついたものであるから、素早い初動対応を評価する。
- なにより、現場に駆けつけるのが早かったことが良かった。対応した若手警察官にとっては、非常に貴重な経験になったと思う。本県の若手警察官の士気の高さを感じた。
- 迅速な対応と若手警察官の活躍により検挙することができたことを高く評価する。一方で、被害にあった店員の方の適切な対応に敬意を表したい。